

グループ	説明	整合の度合い	対応
グループ A	対応する ISO 図記号と同一の図記号もの	ISO と 整合している。	現行JISの図記号の通りとする。
グループ B	機能(定義)及びイメージコンテンツ(図材と相対的位置)が同一であるが、図記号の細部が異なるもの。 例:タクシー乗り場など	ISO と 整合している とみなす。	
グループ C	C1)機能(定義)が同一であるが、イメージコンテンツ(図材と相対的位置)の <u>一部が異なっているが、異なっている部分が、その図記号の機能(定義)のキー要素にならないもの</u> 例:「エレベーター」では、JISが3人、ISOが1人乗り込んでいるが、それは「エレベーター」の機能(定義)のキー要素にならないと考える。 C2) 機能(定義)が同一であるが、イメージコンテンツ(図材と相対的位置)の <u>一部が、JISでは追加されており(又は ISO では追加されており)、その図記号の機能(定義)のキー要素にならないもの</u> 、又は JIS の方が理解度が高いと考えられるもの。 例:「お手洗い」のJISでは、男性と女性の間に「仕切板」のようなものが追加されているが、それは「お手洗い」の機能(定義)のキー要素にならないか又は JIS の方が理解度が高いと考える。		

グループ	説明	整合の度合い	対応
グループ D	<p>D1) 機能(定義)が同一であるが、イメージコンテンツ(図材と相対的位置)の<u>一部が異なっており、異なっている部分</u>が、その図記号の機能(定義)のキー要素になり得るもの。 例:「レンタカー」のJISでは、「R」の記号で、ISOでは「鍵」の記号を表示されており、それらは、「レンタカー」の機能(定義)のキー要素になり得るもの。</p> <p>D2) 機能(定義)が同一であるが、イメージコンテンツ(図材と相対的位置)の<u>一部が、ISOでは追加されており、その図記号の機能(定義)のキー要素になり得るもの</u>、又はISOの方が理解度が高いと考えられるもの。 例:「駐車場」のISOでは、「車」の図が追加されており、「車」は「駐車場」の機能(定義)のキー要素になり得るもの。</p>	ISO と 整合していない とみなす。	<p>ISOと整合する必要があるが、その使用状況等を考慮しながら、以下の対応策について検討する。</p> <p>①ISOの図記号に合わせる。(JIS Z8210の「デザインの原則」(例えば人間の手足の先端が垂直に切れているデザイン等)を適用。)</p> <p>②現行JIS図記号及びISO図記号の2つを併存する。 ただし、現行JIS図記号の猶予期間を設ける。</p> <p>③現行JIS図記号及びISO図記号の2つを併存する。 ただし、現行JIS図記号の猶予期間を設けない。</p> <p>④国民性及び文化的な要求事項等から、ISO図記号の整合化は困難であり、現行JIS図記号のままとする。</p> <p>⑤日本人だけではなく、外国人に対しても、JIS 図記号の方が理解度・視認性が明らかに高く、JIS 図記号を ISO 図記号に改正提案するのであれば、現行JIS図記号のままとする。</p>
グループ E	<p>機能(定義)が同一であるが、イメージコンテンツ(図材と相対的位置)及び図記号が異なるもの。 例:「病院」等</p>		
グループ F	対応する ISO 図記号が存在しないもの(機能(定義)が異なるもの)	—	ISO図記号が無いので、現行JISの図記号の通りとする。

※対応について、伊藤委員よりコメントあり。(9/1 追記)

・JIS 図記号については、移動等円滑化基準、国家標準として、一定の強制力を持って整備を進めてきた。

「視認性、認知度等が ISO に比べ著しく劣る」図記号以外については現行通りとしていただきたい。